

協働の まちづくり

ニュース

Vol. 24
2014.12月号

演題「東九州自動車道開通に向けた期待と課題」

公益財団法人 九州経済調査協会主任研究員 大谷友男氏

「高速道路開通で変わる日向市」を考えるシンポジウム
主催：日向市



高速道路開通

9月20日（土）に開催しました「高速道路開通で変わる日向市を考えるシンポジウム」では、県や市の行政、議会、民間、市民団体から約100名の方々が集まりました。グループディスカッションでは、①日向市の誇れるもの・資源②五年後の日向市のありたい姿③理想の日向市になるために私たちができることの3つのテーマについて、活発な意見交換が行われました。（詳細は7ページをご覧ください。）



P 2～3 特集／新しい地域コミュニティ組織制度事業

○4地区の動き

P 4～6 協働へのアプローチ

○ひまわり基金事業市民活動助成事業中間報告○市民まちづくり支援事業平成26年度下半期審査結果公表○牧水DE国際交流

P 7
P 8

高速道路開通で変わる日向市を考えるシンポジウム
日向市地域力活用高速道路開通記念賑わい創出事業

日向市市民 まちづくり 支援事業

平成26年度下半期日向市市民まちづくり 支援事業の採択事業をご紹介します。



No.	団体名	代表者	事業名	区分	事業内容
1	まちなかハロウィン 実行委員会	実行委員長 明神 勝彦	まちなかハロウィン2014	既存 拡大	子どもたちが主役となって「ハロウィン」をテーマに、街なかで仮装コンテストやおばけツアーや、魔法のほうきコンテスト、杜の図書館、パンプキン美術館などの体験型イベントを通して様々な体験をし、街を愛する「心」を育てる。
2	Happiness	代表 門田 小夏	ワンニャン＆キッズフェスティバル	既存 拡大	動物の殺処分の現状と実態を詳しく記したパネル展や盲導犬によるデモンストレーション、動物の登場する絵本を備えた絵本カフェ、動物にちなんだミニゲーム・クイズなどを実施し、動物を身近に感じてもらいうながら、子どもから大人まで楽しみながら命の大切さに気付いてもらえるきっかけづくりをする。
3	ドリームプランプレゼンテーションinひむか 実行委員会	実行委員会 島原 俊英	ドリームプランプレゼンテーション inひむか2015	新規	個人の夢から成る社会貢献性のある事業プランについて会場の皆さんに対しプレゼンテーションを行い感動大賞・共感大賞の投票を行う。 入場者からは入場料を徴収する。高校生以下は入場料を徴収しない。
計	3団体		3事業		

審査会は公開フレゼン
ーションとなつていま
すので、興味がある方は
一度ご覧になつてみては
どうでしょうか。



8月12日（火）に日向市中央公民館第4研修室において、「平成26年度下半期日向市市民まちづくり支援事業」の審査会を開催しました。

4団体から事業の申請があり、決められた時間の中で、自分たちの企画内容や思いをどれだけ伝えられるか真剣にプレゼンテーションを行い、12名の審査員にて審査した結果、3団体3事業の採択となりました。

【バイブル】
エヌスティバル】
命の中に、命を救える命があることを知つて頂き、1匹でも多くの動物たちを救いたい。子ども達に命の大切さを広く伝えたい。



【企画提案募集】



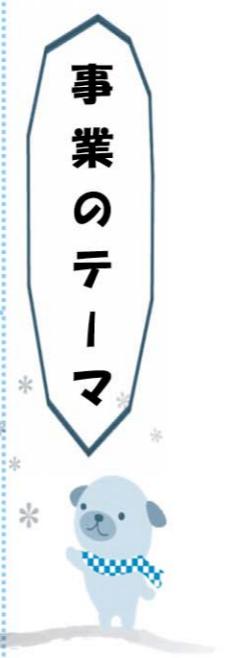
【企画提案募集】

ラ・リ・シ・ミ・ス・ン

卷之三

る。違いを受け入れ、信頼と支援によってすべての人々に夢と勇気を与える。

事業のテーマ



ひまわり基金事業 市民活動助成事業

市民活動助成事業とは、市内の市民活動団体が取り組むまちづくり事業に対して補助率を対象経費の3/4以内、上限額を150,000円で実施している助成事業です。

**今年度採択され、これまでに実施されたもの、現在実施されている事業をご紹介します！
(申請は現在も随時受付中です)**

No.	団体名	事業名	事業実績
1	日向渚を守る会	①「お倉ヶ浜ビーチクリーン運動」 ②「TARKUS CUP」 ③伝承地引網体験活動	【目的】①ウミガメが孵化する時期が台風の時期と重なっており、流木やゴミが大量に打ち上げられるため通年を通じ清掃を行う。 ②サーファー資質の向上を図り、日向市のマリンスポーツを発展させる。 ③古くから行われている伝統をのちの世代に残していくため。 【実施日】①平成26年4月1日から平成27年3月31日、②平成27年1月1日、③平成26年5月11日 【実施場所】お倉ヶ浜海水浴場【参加者】①2000人、②60人、③100人 【事業内容】①ボランティアでは限界がある、流木や大きなゴミを重機を使用し清掃を行う。②サーフィン大会を6クラスに分け実施、参加者には記念Tシャツ、各クラス4位までトロフィー贈呈。
2	日向ひまわり国際文化交流会実行委員会	日向ひまわり国際文化交流会	【目的】日向市の文化活動と、外国文化活動団体との交流演奏発表を通して、一般市民、活動団体の文化の発展、拡大及び国際意識の向上を図る。 【実施日】平成26年7月6日 【実施場所】中央公民館【参加者】278人 【事業内容】雅楽、能、日本舞踊、郷土芸能、マンドリン合奏の演奏。台湾合唱団
3	わんぱく相撲 日向場所 実行委員会	第9回 わんぱく相撲日向場所	【目的】子ども達に社会教育の場に参加する機会を与え、大会を継続することにより、一人でも多くの子ども達に夢を与える。 【実施日】平成26年5月25日 【実施場所】日向市駅ステージ前広場【参加者】400人(観客含) 【事業内容】日向市・門川町・美郷町・諸塙村・椎葉村の小学生学年別によるトーナメント戦。
4	古澤巖の石神山 ミュージックキャンプ 実行委員会	古澤巖の石神山ミュージックキャンプ	【目的】レベルの高い指導者による音楽指導。地元の吹奏楽部のレベルアップを図る。市外の方と地元の方々との交流を行うことによって、日向の良さを知っていただく。 【実施日】平成26年8月21日から8月23日 【実施場所】美々津小学校田の原分校【参加者】150人 【事業内容】普段一流の指導者によるスクールのない地で一流の指導者より基本から音楽レッスンを行う。
5	日向七夕まつり 実行委員会	第10回 日向七夕まつり	【目的】日向市の伝統的祭りであった「七夕まつり」の継承。 【実施日】平成26年6月28日から7月12日 【実施場所】日向市駅東西キャノピー下、日向市西口ひむかの杜【参加者】24000人 【事業内容】15日間駅前に飾り付けを行い、7月5日に木もれびステージでイベントを行う。
6	元気ワクワク 夢クラブ	ひすいこたろう & 白駒妃登美講演会	【目的】夢や志、生き方について考える機会が少なくなった現代を生きる私たちが、日本人としての生き様や夢のかなえ方について考える講演会にする。 【実施日】平成26年9月10日 【実施場所】中央公民館【参加者】516人 【事業内容】講演会「日本人としての夢の描き方」
7	日向十五夜祭提灯 実行委員会	提灯でおもてなし！市民参加型で祭りを盛り上げよう！	【目的】日向十五夜祭を盛り上げ、商店街の活性化につなげる。子どもたちが大きくなった時に、町への思い出を残したい。 【実施日】平成26年10月11日 【実施場所】ハリカ前、1街区公園、幸福神社【参加者】4000人 【事業内容】提灯で幻想的な空間をつくり、設置場所にはベンチを設置し、休憩場所を確保。
8	「かたむすび」日向公演実行委員会	「かたむすび」日向公演	【目的】家庭教育の向上、市民文化意識の向上に寄与する。 【実施日】平成26年11月8日 【実施場所】中央公民館 【参加者】1000人 【事業内容】本県出身の演出家本田誠人氏による脚本・演出で市内在住の俳優を主役に、県内の劇団員の出演により公演を行う。
9	まんなか通り会	まんなか通り集まろ会！	【目的】土曜夜市を復活させ、子どもたちの思い出づくり、日向への愛着をもつていただく。 【実施日】平成26年10月10日 【実施場所】中心市街地【参加者】500人 【事業内容】流しソーメン、スイカ割などの振る舞い、大縄跳びなどのゲーム、太鼓の演奏、出店等を実施。
10	日向市商工会議所女性会	100万人のキャンドルナイト～ひゅうがの灯り2014	【目的】地球温暖化防止活動及びエコ活動の一環として環境問題やエネルギー節約への関心を高めてもらうこと併せて、地域振興と中心市街地の活性化による世代間交流人口の増加。東日本大震災の早期復興。 【実施日】平成26年11月8日 【実施場所】日向市駅前交流広場・屋外ステージ 【参加者】800人 【事業内容】エコキャンドルの点灯、市民吹奏楽団演奏、フォトコンテスト、抽選会、物品販売
11	あくがれて牧水 実行委員会	牧水の里を満喫! 「なりきり旅人」散策!	【目的】牧水のふるさとのアピール、住民主体の地域活性化を推進する。 【実施日】平成26年11月30日 【実施場所】牧水公園周辺 【参加者】20人 【事業内容】牧水の生誕地「坪谷」を、往時の牧水の姿になりきって散策し、牧水を育んだ自然景観の中で、食や短歌づくりなどの体験を通じ、地域の方々との交流を交えながら、地域づくりと「牧水のふるさと」としての情報発信を行う。

去る8月30日（土）に東郷町の牧水公園にて、国際交流事業「高速道路開通記念 牧水DE国際交流」（主催・日向市国際交流まちづくり推進協議会）を開催しました。

当日の天候は曇りで、一時的に雨が降ることもありましたが、60名を超える多くの方に参加いただき、盛大に開催することができました。

また、参加者の約半数は外国の方ということもあり、とても国際色豊かなイベントになりました。



まえることができました。

最後に、バーベキューをしました。お肉や野菜を焼くだけではなく、ソーセージをパンに挟んだり、フランスパンにオリーブオイルを塗ったりと、外国人の方もいました。

他にも、捕まえた鮎を塩焼きにしたり、鹿肉の唐揚げやし汁など、東郷町の様々な郷土料理が準備され、参加者は初めて見る料理に興味を示し、美味しそうに食べていました。

参加者からは、「色々な国の人と話せて楽しかった」「日本の地方の文化や郷土料理を知ることができて良かった」など多くの感想をいただきました。



「高速道路開通で変わる日向市を考えるシンポジウム」開催

9月20日（土）、「高速道路開通で変わることを考えるシンポジウム」が開催され、県や市の行政、議会、民間、市民団体から約100名の方々が集まりました。

このシンポジウムは、高速道路開通による本市の新たな飛躍に向け、行政・民間・市民がそれぞれ「何を準備し、これからどう行動すべきか」を考え、地域が一体となつた活動がさらに活発化することを目的として開催されました。大谷氏は、「高速道路開通効果への期待は高いが、開通に向けた取り組みは極めて低調である。開通の効果を高めるためには、地域や企業の取り組みが肝心。」とした上で、「ないものねだり」ではなく、「あるもの探し」がポイントであると話されました。日向ならではのものを探し育て、その魅力を伝えることが大事であるとのことです。

【基調講演】

まず、（公財）九州経済調査協会主任研究員の大谷友男氏を講師に招き、「東九州自動車道開通に向けた期待と課題」と題して講演を行っていただきました。大谷氏は、「高速道路開通

実行委員長 明神氏
▲まちなかハロワイン実行委員長 竹下氏
▶日向ひよっこ夏祭り 実行委員長 竹下氏



▲グループディスカッションの様子

【プレゼンテーション】

基調講演の後、行政や市民団体から、それぞれの取り組みについてプレゼンテーションを行いました。市民団体からは、「日向ひよっこ夏祭り実行委員会」の竹下和秀実行委員長と「まちなかハロワイン実行委員会」の明神勝彦実行委員長に発表していただきました。

このシンポジウムは、高速道路開通による本市の新たな飛躍に向け、行政・民間・市民がそれぞれ「何を準備し、これからどう行動すべきか」を考え、地域が一体となつた活動がさらに活発化することを目的として開催されました。大谷氏は、「高速道路開通効果への期待は高いが、開通に向けた取り組みは極めて低調である。開通の効果を高めるためには、地域や企業の取り組みが肝心。」とした上で、「ないものねだり」ではなく、「あるもの探し」がポイントであると話されました。日向ならではのものを探し育て、その魅力を伝えることが大事であるとのことです。

【グループディスカッション】

プレゼンテーションの後、8つの班に分かれてグループディスカッションを行いました。テーマは3つ。
①日向市の誇れるもの・資源
②五年後の日向市になりたい姿
③理想の日向市になるために私たちができるうこと

保存会からの恩恵、実行委員会の若手が発展できた要因として、竹下実行委員長は「踊り手と観客の一体感、方々と一緒にになって創意工夫してきたこと」などを挙げられました。

【今後の取り組み】

今回のシンポジウムで出された意見等から、今後の取り組みとして以下のものが挙げられます。

・細島港の利活用を促進し、産業の発展を図る
・観光資源の掘り起こしと市内外への認知度アップ
・情報発信力の強化と手法の検討
・市民に愛される郷土食の開発・普及
これらについては、行政だけでは限界があり、民間や市民の皆さんと一体となり、連携しながら共に考え、行動することが重要です。

今後も、「ないものねだり」ではなく、「あるもの探し」をしながら「市民との協働」により東九州自動車道の全線開通後のさらなる発展に向け取り組んでいきたいと思います。

編集後記

▼先日開催されました日向市産業合同フェスタでは、私も塩見まちづくり協議会の一員として、そば打ちから販売まで参加させていただきました。毎年大好評の猪そばは今年もすぐに完売し、多くの方に来年も楽しみにしています。毎年も楽しんでいます。今後も、地域の皆さんと一緒に楽しく活動していくたいな

等の声をかけていただきまし

た。今後も、地域の皆さんと一緒に

地域力活用
高速道路開
通記念賑わ
い創出事業

新たな公募事業 のご案内



あなたのアイデアを活用しませんか？

市民活動団体の皆さんのが、主体的に企画提案し、実施する新規事業に対して、助成を行います。

募集概要

補助率
補助限度額

補助率 4／5以内
補助限度額 250万円



募集用件

高速道路開通を盛り上げ市内の賑わいを創出するイ
ベントなどを新規に行う事業
補助対象経費の総額が20万円以上の事業

応募できる
団体

市内の非営利活動団体など
(NPO法人、市民団体、自治会など)

募集期間

随時受付中
事業実施期間は平成26年度中に完了すること。

詳細は、日向市地域コミュニティ課に問い合わせてくださいか、日向市ホームページに掲
載しております募集要項をご覧ください。

【問い合わせ&申し込み先】

日向市地域コミュニティ課 電話 0982-56-0017
E-mail kyoudou@hyugacity.jp